

企業・人材プール 2018年度 講義実施報告書

2019年3月



はじめに

本会では、大学でのキャリア教育の充実に向けた産学連携による人材育成の実践策として、本会の会員企業から会員大学の講義に講師派遣などを行う「企業・人材プール」を実施しています。

このたび、2018年度の実施報告書を取りまとめました。ご活用を検討されている会員大学の皆様の参考になれば幸いです。また、今後も本事業の内容充実に努めてまいりますので、会員企業の皆様の引き続きのご協力をよろしくお願い致します。

企業・人材プールについて

(1) 目的

- ①昨今、低下していると言われる学生のコミュニケーション能力、チームワーク、主体性等の「社会人基礎力」を向上させる取り組みを行うこと
- ②学生に対し、実社会の動き・雰囲気等を、企業人から直接に伝える中で、大学での学びに対するモチベーションを向上させること
- ③企業が求める人材像の共有化、企業ニーズの教育カリキュラムへの反映等に向け、企業と大学が、具体的な内容に即してコミュニケーションを行う機会を増やすこと

(2) 概要

- ご登録頂いた会員大学の授業についてご登録頂いた会員企業から講師を派遣頂く
- 企業から提出された「相談可能な講義内容」の中から実施を希望する内容について大学は本会に連絡し、本会は企業と大学の引き合わせを行う

(3) 2018年度の実績

- 会員企業 59社・団体から 148件の「相談可能な講義内容」を会員大学に提供
- 6大学において 19社・団体が 26コマの講義を実施

目次

<実施報告書（実施日付順。法人の種類の名前は省略）>

東海学園大学×読売新聞東京本社.....	1
東海学園大学×朝日新聞.....	2
南山大学×シーキューブ.....	3
東海学園大学×電通.....	4
東海学園大学×サントリーホールディングス.....	5
東海学園大学×富士精工.....	6
岐阜大学×豊田自動織機.....	7
愛知大学×電通.....	8
東海学園大学×パーソルテンプスタッフ.....	9
岐阜大学×電通.....	10
名古屋市立大学×三井不動産リアルティ、三菱商事.....	11
南山大学×大同特殊鋼.....	12
東海学園大学×中部経済連合会.....	13
東海学園大学×熊谷組.....	14
名古屋工業大学×OJTソリューションズ.....	15
愛知大学×ジェイテクト.....	16
名古屋市立大学×鹿島建設、中部電力、三井不動産リアルティ、 三菱商事、三菱UFJ銀行.....	17
名古屋工業大学×西日本電信電話.....	18

※各大学様よりご提出頂きました実施報告書をできる限り原文のまま掲載しておりますが、講師をお務め頂きました方の氏名など、一部修正を行っております。

東海学園大学 × 読売新聞東京本社

	項目	記入欄(原則として全て記入してください)
講義等情報	大学名	東海学園大学
	講義等の実施日と時間帯 (複数回の場合はすべての日程)	2018.4.25 16:20～17:50
	講義等担当企業名	読売新聞東京本社 中部支社
	講義等の種類(選択)	出前授業
	対象学部・学科	人文学部・教育学部・健康栄養学部
	対象学年	2年生
	受講学生数 (複数回の場合は各回毎の人数)	18名
	講義等の目的・狙い	新聞を身近に感じ、社会での出来事に興味関心を持たせる。また、幅広い視野をもって学生生活や学習を充実させられるように活かす。
	講義等のテーマ	「新聞」のノウハウを『学校生活』に活かす
	講義等の内容(プログラム)	1. 自己紹介、業界・仕事内容について 2. 新聞記事の構成、読み方の説明 3. 個人ワーク(当日の新聞から気になる記事のピックアップ・理由発表) 4. 質疑応答
	使用言語	日本語
正課・非正課の別(選択)	非正課	
コメント	学生のコメント(特徴的なものを記入)	<ul style="list-style-type: none"> ・紙面の使い方や記事とは異なる部分の使い方が少し違って、新聞ごとに個性が出ると感じた。 ・新聞を最後まで見たとき、きちんと見てみたいと思う記事があり、見ていくうちに様々な情報を知ることができるのだと感じた。 ・新聞が完成するまでに色々な人が関わっていて、毎日作っているのはすごいと思った。
	担当教員のコメント	<ul style="list-style-type: none"> ・当日の紙面を実際に目を通し、気になる報道をピックアップするワークがあるなど、新聞に触れる機会を作っていただき、新聞を読む大切さを理解したという声が多かった。 ・投影用パワーポイントでは写真や図表を使用して頂いたため、より詳しく現場の様子や流れを理解することができたと思われる。
	反省点・改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞および社会に対する関心を持つきっかけを与えていただいたが、質疑応答の中で学生からの質問が少なく感じた。外部講師を招いては年度初めてだったため、活発な意見交換ができる対応が必要だったと思われる。
その他		

東海学園大学 × 朝日新聞

	項目	記入欄(原則として全て記入してください)
講義等情報	大学名	東海学園大学
	講義等の実施日と時間帯 (複数回の場合はすべての日程)	2018.5.9 16:20～17:50
	講義等担当企業名	朝日新聞 名古屋本社
	講義等の種類(選択)	出前授業
	対象学部・学科	人文学部・教育学部・健康栄養学部
	対象学年	2年生
	受講学生数 (複数回の場合は各回毎の人数)	17名
	講義等の目的・狙い	メディア企業が取り組んでいるスポーツ事業を理解し、またビジネスとしての仕組みを学ぶ。
	講義等のテーマ	メディア企業のスポーツ戦略
	講義等の内容(プログラム)	1. 企業・担当者の紹介 2. メディア企業が行うスポーツ事業解説、ビジネスの構図など 3. スポーツイベントのビジネスプランを考える【グループワーク】 4. グループワークの発表、質疑応答
	使用言語	日本語
正課・非正課の別(選択)	非正課	
コメント	学生のコメント(特徴的なものを記入)	<ul style="list-style-type: none"> ・様々なスポーツ大会が、すべてそのスポーツの連盟が主催ではないということを知った。 ・スポーツ大会を自分たちでプロデュースすることで、スポンサーを探すことの大変さやアイデア、発想力が大切だということが分かった。 ・グループワークでは納得の行くビジネスプランができず、スポンサーを考えたり収入を考えたりするのはなかなか難しいと感じた。
	担当教員のコメント	ご担当者様は学生と年齢が比較的近く、分かりやすい説明と解説をしていただいた。学生もスポーツビジネスおよび新聞社の仕事について、詳しく理解できたのではないかと感じられた。
	反省点・改善すべき点	グループワークにおいて積極的に取り組む学生とそうでない学生の姿勢が見られた。不慣れな部分もあったが、今後は自発的に発言をしたり積極的に傾聴する姿勢の必要性を提供しなければいけないと感じた。
その他	講座当日は、ご担当者以外に2名(計3名で)ご来学いただき、学生のグループワークに関するご支援をいただいた。	

南山大学×シーキューブ

	項目	記入欄(原則として全て記入してください)
講義等情報	大学名	南山大学
	講義等の実施日と時間帯 (複数回の場合はすべての日程)	2018.5.16 09:20~10:50
	講義等担当企業名	シーキューブ株式会社
	講義等の種類(選択)	出前授業
	対象学部・学科	経営学部・経営学科
	対象学年	2年生
	受講学生数 (複数回の場合は各回毎の人数)	21名
	講義等の目的・狙い	経営企画の役割と事業計画策定の業務に興味を抱かせる。
	講義等のテーマ	企業における『経営企画部』の役割
	講義等の内容(プログラム)	1 業界・会社紹介 2 経営企画の役割 3 経営ビジョンと利益計画の策定 4 経営企画部の仕事のやりがい
	使用言語	日本語
	正課・非正課の別(選択)	正課
コメント	学生のコメント(特徴的なものを記入)	<ul style="list-style-type: none"> ・授業で学んでいる事業計画策定に関する内容について、実務例をご紹介いただくことで、より深く、詳しく学ぶことができた。 ・経営企画部門の役割や業務内容について学ぶことができた。 ・情報収集力、企画力、プレゼン力、コミュニケーション、前向きな姿勢を身につけたいと感じた。 ・授業で学んでいる内容に対して現実味が湧いた。
	担当教員のコメント	<ul style="list-style-type: none"> ・業界の解説をしていただいたうえで、お話いただいたため、専門的になりすぎず、わかりやすい内容でした。 ・経営企画という仕事あるいは管理会計について、学生に興味を抱かせるきっかけになったと感じます。 ・学生にはレポートを課したため、熱心に話を聞いていました。また、質疑応答も活発に行われました。 ・昨年度も講義いただきましたが、新しい内容を付け加えていただき、より興味深い内容になっていました。
	反省点・改善すべき点	・2回目ということもあり、特に改善すべき点はございません。
その他		

東海学園大学 × 電通

	項目	記入欄(原則として全て記入してください)
	大学名	東海学園大学
講義等情報	講義等の実施日と時間帯 (複数回の場合はすべての日程)	2018.5.23 16:20～17:50
	講義等担当企業名	株式会社電通
	講義等の種類(選択)	出前授業
	対象学部・学科	人文学部・教育学部・健康栄養学部
	対象学年	2年生
	受講学生数 (複数回の場合は各回毎の人数)	14名
	講義等の目的・狙い	ビジネスにおける『マーケティング』の必要性・重要性を理解する。
	講義等のテーマ	マーケティング戦略とは何か
	講義等の内容(プログラム)	1. 企業・担当者紹介 2. マーケティングとは何か 3. 質疑応答
	使用言語	日本語
正課・非正課の別(選択)	非正課	
コメント	学生のコメント(特徴的なものを記入)	同じ製品でも、日本と海外では欲しい性能が違うので、その国で使いやすいようなものを考えて作るのが大切だということを学んだ。そのために必要なのは、観察力と分析力、発想力だと思った。また、それをどのように広告するのも大切だと思った。
	担当教員のコメント	専門用語の解説ではなく韓国やインドの事例紹介を含めて、初めて『マーケティング』を学ぶ学生にも理解しやすいように配慮していただいた。学生にも所々で反応が見られ、しっかり話を聞こうとする姿勢が見られた。
	反省点・改善すべき点	講師から意見を求められる場面があったが、意見がなかったりうまく発言できなかつたりと不慣れな点が見られた。また、質疑応答もあまり出てなかったため、自らの意見や疑問に感じたことは発言できる雰囲気を作る必要があったと感じた。
その他		

東海学園大学 × サントリーホールディングス

	項目	記入欄(原則として全て記入してください)
講義等 情報	大学名	東海学園大学
	講義等の実施日と時間帯 (複数回の場合はすべての日程)	2018.5.31 16:20~17:50
	講義等担当企業名	サントリーホールディングス(株)
	講義等の種類(選択)	出前授業
	対象学部・学科	経営学部、スポーツ健康科学部
	対象学年	2年、3年
	受講学生数 (複数回の場合は各回毎の人数)	20名
	講義等の目的・狙い	キャリア教育の一環として、職業観を醸成する
	講義等のテーマ	「自己省察と将来のキャリア設定」
	講義等の内容(プログラム)	1. 人事制度 2. 育成制度
	使用言語	日本語
	正課・非正課の別(選択)	非正課
コ メ ン ト	学生のコメント(特徴的なものを記入)	「なぜ」という疑問を繰り返すことで答えが深まり、そのような経験や知識によって判断力は鍛えられると学んだ。 講演から、社員の成長を長い目で見ているということが分かり、自身もキャリアを積み上げることについて考える機会となった。
	担当教員のコメント	日本を代表する大企業でありながら、社員一人ひとりの適性を十分に把握し、個性を存分に発揮できる環境を提供していることが分かった。
	反省点・改善すべき点	講演中、意見を求めらる場面やディスカッションにおいて、発言をすることに不慣れさが見られたため、今後は学生に早期から自発的な発言・行動を学ぶ機会を提供したい。
そ の 他		

東海学園大学 × 富士精工

	項目	記入欄(原則として全て記入してください)
講義等情報	大学名	東海学園大学
	講義等の実施日と時間帯 (複数回の場合はすべての日程)	2018.6.6 16:20～17:50
	講義等担当企業名	富士精工株式会社
	講義等の種類(選択)	出前授業
	対象学部・学科	人文学部・教育学部・健康栄養学部
	対象学年	2年生
	受講学生数 (複数回の場合は各回毎の人数)	9名
	講義等の目的・狙い	愛知県の産業である『ものづくり』の歴史やルーツを学び、製造業への理解を深める。
	講義等のテーマ	文系学生のための製造業研究講座
	講義等の内容(プログラム)	1. 製造業とは 2. 愛知県の製造業について(ものづくり史) 3. 規模・業態による働き方の違い 4. 文系学生に求められる要件
	使用言語	日本語
正課・非正課の別(選択)	非正課	
コメント	学生のコメント(特徴的なものを記入)	・愛知県は製造業が強いということは知っていたが、製造品出荷額が40年連続で全国1位ということは知らなかったのが驚いた。付加価値額でも1位で、質・量ともに強いということがわかった。 ・愛知県のものづくりの歴史を紐解いていくと、愛知県がものづくりのまちとなったルーツがあったことが分かった。
	担当教員のコメント	古くは古墳期からの長い歴史を積み重ねたことで、今日の愛知県の製造業や産業発展があることが学生に伝わったと感じている。さらに、歴史を紐解くことで製造業には様々な技術や奥深さがあることも認識することができた。
	反省点・改善すべき点	質疑応答が活発に行われなかった点。写真やデータを用いてしっかりお話いただいたため、大半の学生は理解できたと感想にはあったが、積極的に意見交換ができる環境が必要だと感じた。
その他		

岐阜大学 × 豊田自動織機

	項目	記入欄(原則として全て記入してください)
大学情報	大学名	岐阜大学
講義等情報	講義等の実施日と時間帯 (複数回の場合はすべての日程)	6月12日 14:45-16:15
	講義等担当企業名	(株)豊田自動織機
	講義等の種類(選択)	出前授業
	対象学部・学科	工学部 電気電子・情報工学科(応用物理コース)
	対象学年	2年生
	受講学生数 (複数回の場合は各回毎の人数)	22名
	講義等の目的・狙い	物理・数学が社会の中でどのように活かされているか実例を通して理解する。
	講義等のテーマ	物理・数学と社会
	講義等の内容(プログラム)	講師による講演、演習、その解説
	使用言語	日本語
	正課・非正課の別(選択)	正課
コメント	学生のコメント(特徴的なものを記入)	基礎知識をもとに、答えが不確かな問題に対して仮説を立て、検証していく重要性が分かった。
	担当教員のコメント	今後の自動車産業の動向見通しも含めた講義で、学生も非常に興味を持って聴講していた。昨年度の学生の声を反映し、物理や数学、論理についての演習問題をより多く取り入れてもらい、非常に有益な機会になったと思う。
	反省点・改善すべき点	特になし
その他		

愛知大学 × 電通

	項目	記入欄(原則として全て記入してください)
講義等情報	大学名	愛知大学
	講義等の実施日と時間帯 (複数回の場合はすべての日程)	6月19日(火)3限(13:20~14:50)
	講義等担当企業名	電通
	講義等の種類(選択)	出前授業
	対象学部・学科	文学部
	対象学年	2-4年生
	受講学生数 (複数回の場合は各回毎の人数)	100名
	講義等の目的・狙い	カルチュラル・スタディーズにおける広告とメディア・リテラシー
	講義等のテーマ	生活者の情報行動の変化と広告コミュニケーションの課題
	講義等の内容(プログラム)	インターネットの普及に伴って発生している、コンテンツとしてのWEB動画、フェイクニュース、広告視認手法におけるアド Fraud、ブランド価値の毀損等の問題について
	使用言語	日本語
正課・非正課の別(選択)	正課	
コメント	学生のコメント(特徴的なものを記入)	新しい手法であるインターネット広告の構造やそこに潜むメディアリテラシーの問題を学習できて有意義だった。
	担当教員のコメント	インターネットにおけるメディアリテラシーの提示と、日本と外国における広告の比較が学生に大きな刺激を与えてくださった。
	反省点・改善すべき点	
その他		

東海学園大学×パーソルテンプスタッフ

	項目	記入欄(原則として全て記入してください)
講義等情報	大学名	東海学園大学
	講義等の実施日と時間帯 (複数回の場合はすべての日程)	2018.6.27 16:20～17:50
	講義等担当企業名	パーソルテンプスタッフ株式会社
	講義等の種類(選択)	出前授業
	対象学部・学科	人文学部・教育学部・健康栄養学部
	対象学年	2年生
	受講学生数 (複数回の場合は各回毎の人数)	6名
	講義等の目的・狙い	社会で活躍されている女性の実例をもとに、働く環境や制度等を理解する。
	講義等のテーマ	女性の働き方について
	講義等の内容(プログラム)	1. 企業紹介 2. 講師の方の一日の働き方(仕事)について 3. 働くことのやりがいや苦勞 4. 質疑応答
	使用言語	日本語
	正課・非正課の別(選択)	非正課
コメント	学生のコメント(特徴的なものを記入)	男性は働くという固定観念がある中、女性が働くのは育休や家庭との両立でなかなか大変だと思っていたので、今回の話を聞いて会社・職場の人の理解、さらには家族の理解があれば可能であることが分かったので、気持ちが楽になった。
	担当教員のコメント	フレックスタイム制や育児休業などの制度や企業側の取り組みなど、中身をしっかりお話いただいたことで学生の理解も深まり、働き方や両立についてしっかりメモを取る姿が見受けられた。
	反省点・改善すべき点	受講後に質問が少ないケースが目立つため、受講前に予め質問や気付きを受け付けておくことで、学生のイメージと実際の「女性の働き方」についてより理解が深まったのではないかと感じた。
その他	講座当日は、ご担当者以外に2名(計3名で)ご来学いただき、学生の質問に関して様々な視点からご回答をいただきました。	

岐阜大学 × 電通

	項目	記入欄(原則として全て記入してください)
講義等情報	大学名	岐阜大学
	講義等の実施日と時間帯 (複数回の場合はすべての日程)	6月29日 14:45-16:15
	講義等担当企業名	(株)電通
	講義等の種類(選択)	エンライトメントレクチャー
	対象学部・学科	キャリア支援部門
	対象学年	博士後期課程1~2年(修士課程聴講も可)
	受講学生数 (複数回の場合は各回毎の人数)	6名
	講義等の目的・狙い	博士課程学生に企業の研究開発・研究マネジメントの能力・企業研究者としての基本スキルとノウハウを養成
	講義等のテーマ	マーケティング戦略的思考とは
	講義等の内容(プログラム)	講師による講演、受講生との質疑応答
	使用言語	日本語
	正課・非正課の別(選択)	正課
コメント	学生のコメント(特徴的なものを記入)	イノベーションの意味や企業活動でのマーケティングの重要性が理解できた
	担当教員のコメント	普通の企業活動だけでなく、博士課程の学生が興味を持っている研究活動におけるマーケティング的手法の大事さも話して頂いて、興味深い内容だった
	反省点・改善すべき点	日本語の不得意な留学生が参加してもわかるような、内容と話し方(英語も含め)が、次年度以降の課題
その他		

名古屋市立大学 × 三井不動産リアルティ、三菱商事

	項目	記入欄(原則として全て記入してください)
講義等情報	大学名	名古屋市立大学
	講義等の実施日と時間帯 (複数回の場合はすべての日程)	4/26, 5/10, 7/2, 7/5
	講義等担当企業名(50音順)	三井不動産リアルティ(2回)、三菱商事(2回)
	講義等の種類(選択)	出前授業
	対象学部・学科	医学部、薬学部、経済学部、人文社会学部、芸術工学部、総合生命理学部
	対象学年	1-2年生
	受講学生数 (複数回の場合は各回毎の人数)	前期前半180名、前期後半181名
	講義等の目的・狙い	社会に自身が将来どのようなキャリアをもつかについて考えることを通して、学生時代に身に付けるべき基礎学力とは何かを明確にすること、さらに、自ら主体的に学ぶ姿勢を強固にすることなど
	講義等のテーマ	社会人になる - キャリア形成に備えた学び -
	講義等の内容(プログラム)	・自己紹介、・自身の仕事の内容、社会的役割、やりがい、・大学時代に学んだ中で、何が現在の仕事に生きているか、・大学時代に何を学んでおけば良かったと思うか、・社会人として「教養」の大切さを感じた経験、・海外勤務で何を学び、何を感じたかなど
	使用言語	日本語
	正課・非正課の別(選択)	正課
コメント	学生のコメント(特徴的なものを記入)	三井不動産リアルティ: 「当たり前のことだが、社会に出ると何十歳も年上の人達と話をしなければならず、その際に信用・信頼してもらわないと社会人として通用しないということに気づかされ、大学の授業に限らず世間でのあらゆる出来事についてシッカリ学ばないといけないと思った。」 三菱商事: 「日本が島国であり、世界に出て働いている日本人がいるから自分の日常があることが分かった」、「英語の大切さが分かり、より勉強しようと思った」、「商社の仕事は本当に幅広いと思った」
	担当教員のコメント	お二人とも大変話し慣れておられ、学生が飽きる前にうまく話題を変えられるので、最後まで集中して話が聞けたようです。 今後も是非ご協力いただきたいと考えています。
	反省点・改善すべき点	特にありません。
その他		

南山大学 × 大同特殊鋼

	項目	記入欄(原則として全て記入してください)
講義等情報	大学名	南山大学
	講義等の実施日と時間帯 (複数回の場合はすべての日程)	2018年7月9日 13時30分～15時(3限目)
	講義等担当企業名	大同特殊鋼株式会社
	講義等の種類(選択)	出前授業
	対象学部・学科	経営学部・経営学科
	対象学年	3年生
	受講学生数 (複数回の場合は各回毎の人数)	86名
	講義等の目的・狙い	経営計画の策定と予算編成に関わる仕事のやりがい
	講義等のテーマ	経営計画策定の実際と管理会計業務のやりがい
	講義等の内容(プログラム)	1 会社・業界の紹介 2 経営企画(予算)策定の実際 3 管理会計業務のやりがい
	使用言語	日本語
	正課・非正課の別(選択)	正課
コメント	学生のコメント(特徴的なものを記入)	<ul style="list-style-type: none"> ・経営の羅針盤と言われる管理会計が、いかに大切かを理解することができた。 ・会社で働くようになってからも、授業で学んでいることを活用できる機会があることが分かった。これまで学んできたことや今後新たに学ぶことなどを、しっかり身に付けていきたいと改めて感じた。 ・経営企画部という部署で実際に行われている業務の一例を知ることが出来たことが大変嬉しかった。
	担当教員のコメント	<ul style="list-style-type: none"> ・専門的になりすぎず、わかりやすい内容でした。 ・管理会計が実務で役に立つことを、学生に認識させ、興味を抱かせるきっかけになったと感じます。 ・学生にはレポートを課したため、熱心に話を聞いていました。 ・昨年度も実施いただいたが、一部、新しい内容を付け加えていただき、より興味深い内容になっていました。
	反省点・改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> ・受講生が増えたこともあり、昨年よりも質問数が若干減りました。この点を改善できればと考えます。
その他		

東海学園大学 × 中部経済連合会

	項目	記入欄(原則として全て記入してください)
大学情報	大学名	東海学園大学
講義等情報	講義等の実施日と時間帯 (複数回の場合はすべての日程)	2018.7.11 16:20～17:50
	講義等担当企業名	一般社団法人中部経済連合会
	講義等の種類(選択)	出前授業
	対象学部・学科	人文学部・教育学部・健康栄養学部
	対象学年	2・3年生
	受講学生数 (複数回の場合は各回毎の人数)	20名
	講義等の目的・狙い	これから生き抜く学生に、社会および中部圏の発展について考えるきっかけを与える。
	講義等のテーマ	中部圏の発展について考える
	講義等の内容(プログラム)	1. 過去の日本経済の特徴について 2. 日本が抱える困難・課題について 3. なぜ日本は今、このような状況になったのか 4. 今後の発展に考える・取り組むべきこととは
	使用言語	日本語
正課・非正課の別(選択)	非正課	
コメント	学生のコメント(特徴的なものを記入)	・経済を発展させていくためには、現状に満足するのではなく、新しい環境へ適応し変化していくことが大切だと思いました。今回は経済の話だったが、経済発展のカギとなるものは日常生活でも考え方は活用できると思いました。
	担当教員のコメント	資料がとても充実しており、学生にとって聞きなれない用語や取り組みがあったが、分かりやすく説明いただけた。学生からも、将来の日本について考えるきっかけとなった旨のコメントがあり、興味関心をもって聴講できたと感じている。
	反省点・改善すべき点	事前に講義資料を配布すべきだった点。内容として、過去・現在・未来を振り返り考えていく上で情報量が非常に多かったため、事前学習として資料配布を行っておけば、学生の理解度が深まったのではないかと感じた。
その他	講座当日は、ご担当者以外に1名(計2名)でご来学いただいた。	

東海学園大学 × 熊谷組

	項目	記入欄(原則として全て記入してください)
講義等情報	大学名	東海学園大学
	講義等の実施日と時間帯 (複数回の場合はすべての日程)	2018.7.12 16:20~17:50
	講義等担当企業名	(株)熊谷組
	講義等の種類(選択)	出前授業
	対象学部・学科	経営学部、スポーツ健康科学部
	対象学年	2年、3年
	受講学生数 (複数回の場合は各回毎の人数)	13名
	講義等の目的・狙い	キャリア教育の一環として、職業観を醸成する
	講義等のテーマ	「建設業の社会基盤に果たす役割」
	講義等の内容(プログラム)	1. 土木事業の歴史 2. 事例
	使用言語	日本語
	正課・非正課の別(選択)	非正課
コメント	学生のコメント(特徴的なものを記入)	建設業がいかに大切かが分かった。鉄道やダムなどの建造物が、これまでの日本を支えてきたことや、これからの日本も支えていかなければならないことから、これからも建設業が必要だとおもった。
	担当教員のコメント	建造物の事例では、巨大建造物の建設に、業界が社会基盤整備に果たす役割、人の利便性を高めるものをつくる仕事への情熱が伝わってきた。
	反省点・改善すべき点	質疑応答の時間が取れなくなってしまった。
その他		

名古屋工業大学 × OJTソリューションズ

	項目	記入欄(原則として全て記入してください)
講義等情報	大学名	名古屋工業大学
	講義等の実施日と時間帯 (複数回の場合はすべての日程)	2018.11.29 10:30~12:00
	講義等担当企業名	株式会社OJTソリューションズ
	講義等の種類(選択)	出前授業
	対象学部・学科	社会工学科
	対象学年	2年生
	受講学生数 (複数回の場合は各回毎の人数)	52名
	講義等の目的・狙い	トヨタで実践しているものづくりの基本的考え方について学ぶ
	講義等のテーマ	トヨタ生産方式概論
	講義等の内容(プログラム)	トヨタ生産方式におけるものづくりの基本的考え方、海外へのトヨタ式の展開、トヨタ生産方式とトヨタウェイ
	使用言語	日本語
	正課・非正課の別(選択)	正課
コメント	学生のコメント(特徴的なものを記入)	<ul style="list-style-type: none"> ・トヨタ生産方式の生まれた理由等、歴史から詳しく学ぶことができて良かった。 ・改善活動の最初のステップとして、5S等地道な活動が重要であることが分かった。 ・在庫を削減することが、リードタイムの削減や運転資金の節約に繋がり、企業の競争力を上げることに繋がったことが分かった。
	担当教員のコメント	<ul style="list-style-type: none"> ・トヨタ生産方式が単なる手法ではなく、哲学であることを再認識した。 ・トヨタウェイの海外展開において、各単語の翻訳まで苦労しながら、海外工場に普及されている努力に敬服した。
	反省点・改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> ・実践的な企業側の講義の理解度を高めるため、さらにトヨタ生産方式に関する基礎的な知識等を大学側で教育する必要性を感じた。
その他	<p>この度は、貴会および加盟企業より出前授業にご協力頂き、心より感謝申し上げます。 中部地区は、日本だけでなく世界のものづくり等の中心地であり、この地域における人材育成がこの国の将来に大きな影響を与えると考えます。 今回の講義を通じて、学生も中部地区の企業やものづくりに対して、より関心を持ったものと思われれます。 本業の企業活動でご多忙かと存じますが、ひとつづくりに対して、今後とも貴会のご支援を賜れば幸いです。</p>	

愛知大学×ジェイテクト

	項目	記入欄(原則として全て記入してください)
講義等情報	大学名	愛知大学
	講義等の実施日と時間帯 (複数回の場合はすべての日程)	平成30年12月4日 3時限(1:00~2:30)4時限(2:45~4:15)
	講義等担当企業名	株式会社ジェイテクト
	講義等の種類(選択)	出前授業
	対象学部・学科	国際コミュニケーション学部
	対象学年	2、3年生
	受講学生数 (複数回の場合は各回毎の人数)	3時限(40名)4時限(37名)
	講義等の目的・狙い	『ビジネスコミュニケーション』という授業(15コマ)の中で、実際にメーカーで活躍されている方のお話を学生に聞かせたいという目的でした。3年次インターンシップや就職活動に向かうまでの1年間を有効に過ごすためのヒントを掴んで欲しいという狙いもあります。
	講義等のテーマ	「製造業における文系学生の活躍の場」
	講義等の内容(プログラム)	1. 会社概要とBtoBの重要性 2. トヨタ系グループと世界の動向 3. 文系学生の職種 4. 講師自身のキャリア、反省や教訓 5. 就職活動に対するアドバイス 6. 質疑応答
	使用言語	日本語
正課・非正課の別(選択)	正課	
コメント	学生のコメント(特徴的なものを記入)	<ul style="list-style-type: none"> ・有名な企業ばかりが良いのではなく、BtoBの会社の凄さを知った。 ・世界で活躍する部品メーカー、トヨタ系概要を知ることができた。 ・文系の学生がする仕事は営業が主だと思っていたが、生産管理や採用など色々な仕事があることが分かった。 ・男性講師がトイックを20回以上も受けて後輩にお手本を示している姿に感動した。自分も英語の勉強を頑張ろうと思った。 ・インターンシップや就職活動の話が具体的で面白く、私達を応援してくれて嬉しい。 ・女性講師のような活躍を私もしたいと思った。
	担当教員のコメント	事前のご相談からとても好意的にしてくださり、当日も素晴らしい講演でした。大規模教室でも全員を飽きさせない話の展開、パワーポイント画像も素晴らしく、学生も熱心に受講しました。製造業における文系学生は、どのような役割を果たすのか、そのモデルを見せていただきました。
	反省点・改善すべき点	事前学習で質疑応答の時間を設けることを伝え、公の場における質問の仕方を学びロールプレイもしました。しかし、実際の挙手できたのは、両クラスとも数名ずつでした。もう一段の積極性を身に付けさせたいと思います。
その他	後日、学生のレポートや感想文を郵送しました。	

名古屋市立大学 × 鹿島建設、中部電力、三井不動産リアルティ、 三菱商事、三菱UFJ銀行

	項目	記入欄(原則として全て記入してください)
講義等情報	大学名	名古屋市立大学
	講義等の実施日と時間帯 (複数回の場合はすべての日程)	10/11、10/18、11/1、11/8、1/10
	講義等担当企業名(50音順)	鹿島建設、中部電力、三井不動産リアルティ、三菱商事、三菱UFJ銀行
	講義等の種類(選択)	出前授業
	対象学部・学科	薬学部、経済学部、人文社会学部、芸術工学部、総合生命理学部
	対象学年	1、2年生
	受講学生数 (複数回の場合は各回毎の人数)	120名
	講義等の目的・狙い	様々な業界の外部講師から、各業界の社会的役割、社会における位置づけ、仕事のやりがい、将来性、そこで働く楽しさなどについて聞くことで自身のキャリアをデザインにつなげる。
	講義等のテーマ	社会人になる - キャリア形成に備えた学び -
	講義等の内容(プログラム)	<ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介 ・所属企業が社会において果たす役割 ・組織内での業務区分 ・職務上必要とされる知識や能力 ・仕事のやりがいや所属業界の将来性 などについて、個々の所属団体の宣伝ではなく、業種の代表として講義。
使用言語	日本語	
正課・非正課の別(選択)	正課 (選択)	
コメント	学生のコメント(特徴的なものを記入)	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の将来を考える意識が格段に上がり、家で新聞を見るようになった。 ・世の中には自身の知らない沢山の仕事があること、気づかぬうちに自身がその会社から恩恵を受けていることを知った。 ・名市大にいわゆる業界トップの企業が沢山来てくれたので、自分たちが期待されていると思うと嬉しかった。 ・世の中の仕組みが少しわかったような気がして楽しかった。 ・公務員より絶対企業のほうが楽しそうで、やりがいがあると感じた。 ・文系でもモノづくり企業に行けるというのが新鮮だった。 ・AIが入ってくると、仕事はどうなっていくのかと不安に思った。 ・資料がシッカリしているので、取っておいて読み返そうと思う。 ・1つの会社について、もっと時間をかけて説明して欲しかった。
	担当教員のコメント	いずれの講師の方も、シッカリ準備をして授業に臨んで下さいました。昨年同様、様々な業種、業界の方に来ていただきましたが、どの方も、自身の仕事にやりがいを感じ、会社に誇りを持って生き活きと語っておられるのが印象的で、同じ社会人として頼もしく思いました。
	反省点・改善すべき点	今年度から時間割を変更し、外部講師として参加いただく企業の数を14から20に増やした。シッカリと準備して授業に参加する学生には話を聞ける企業が増えたが、その分、一方的に話を聞く機会が増え、全体的に受け身となった。 シートを作って必ず予習するようにしたことで学生の知識は増えたと思うが、HPなどで調べられることについては質問を控えるよう伝えたため、講師への質問が出にくくなり、全体的に盛り上がり欠ける結果となった。
その他		

名古屋工業大学 × 西日本電信電話

	項目	記入欄(原則として全て記入してください)
講義等情報	大学名	名古屋工業大学
	講義等の実施日と時間帯 (複数回の場合はすべての日程)	2019.1.25 16:20~17:50
	講義等担当企業名	西日本電信電話株式会社
	講義等の種類(選択)	出前授業
	対象学部・学科	電気・機械工学科, 創造工学教育課程(電気電子・機械工学関係分野)
	対象学年	2年生
	受講学生数 (複数回の場合は各回毎の人数)	228名
	講義等の目的・狙い	工学技術者として産業社会への責任と自分のキャリアについて考える能力を涵養する。
	講義等のテーマ	将来の夢、ビジョンを描くために必要なこと。
	講義等の内容(プログラム)	<ul style="list-style-type: none"> ・技術者に必要なスキルとは ・仕事で成果をあげる上で重要なことは ・学生時代にやっておくべきこと
	使用言語	日本語
	正課・非正課の別(選択)	正課
コメント	学生のコメント(特徴的なものを記入)	自分の中の働くということの考え方を見直す必要があると感じた。また、1~4年目の業務、5,6年目の業務とそこで学んだことややりがいを聞くことで、実際に経験した方ではないと感じることができないようなことを知ることができてとても良い経験になった。これから、今回の講義で教えていただいたことを参考に自分の将来、主に仕事について考えていきたい。
	担当教員のコメント	本講演は、上記の学生のコメントにあるように、卒業後にどのような職業に就くか、どのような基準で職業を選んだら良いのかを、今から考える良いきっかけになったようである。講師はプレゼンが上手で、学生の心に強く深く響いたと思う。とても良い授業になった。
	反省点・改善すべき点	今回お願いした講師は30歳くらいの若い方をお願いしたおかげで、学生から共感できるという意見が多かった。様々な年齢層でそれぞれのメリットとデメリットがあるので、複数の講演で連携して、様々な年齢層の講師をお願いするようにしたい。
その他		